

評価問題例

練習問題

名前

1ℓのペットボトルが2本あります。Aの方に0.8ℓ、Bの方には、0.4ℓ入っています。BのジュースをAの方にうつすとあふれるでしょうか。

ジュースは（あふれる・あふれない）【理由】

.....

.....

.....

.....

☆練習問題にチャレンジしよう。

- ① $0.5 + 0.3$ ② $0.8 + 0.4$ ③ $1.5 + 0.3$ ④ $2.4 + 0.7$
- ⑤ $0.6 - 0.4$ ⑥ $0.7 - 0.5$ ⑦ $1.6 - 0.2$ ⑧ $7.6 - 0.7$

評価問題のポイント

* 評価問題について

ジュースがあふれるか、あふれないかを判断させ、その理由を書かせる。そうすることによって、「0.1がいくつ分」と考えることで、整数と同じように計算できるという考え方を定着させたい。整数と同じように計算し、その答えが0.1の「いくつ分」にあたることから、小数点を打つことの意味についても意識することになる。

練習問題では、たし算とひき算のそれぞれについて、0.1のいくつ分と考える視点を大切にしてい、数をこなすことにより、小数の計算問題に慣れさせたい。